

トーク
企画

市長としゃべらんで



原井 敬 市長

いずみ あつし
和泉 敦史 さん「かもじま阿波おどり」
を始めたきっかけ

市長 今日はずっとばらんに
お話を伺えたらと思います。
まずは簡単に自己紹介をお願い
します。

和泉 一夜限りのかもじま阿
波おどり実行委員会の委員長
をしています、和泉と申しま
す。鴨島駅前で飲食店などを
経営しています。よろしくお
願いします。

市長 コロナ禍で阿波おどりが
中止となり、その後、吉野
川市（鴨島）の阿波おどりを
どうしていくかという中で、
和泉さんをはじめ若手の皆さ
んが立ち上がってくれまし
た。始めたきっかけや経緯を
教えてください。

和泉 自分たちが子どもの頃
から、吉野川市（鴨島）の阿
波おどりに遊びに来ていまし
た。コロナ禍が明けて、周り



力強い男踊りが、鴨島の夜を盛り上げる

でイベントが再開されていく
中、吉野川市（鴨島）の阿波
おどりがそのまま終了すると
聞き、「子どもたちが楽しめ
る阿波おどりを、大人の力で
何とか実現できないか」と
思ったのがきっかけです。そ
こで、自分たちで新たに実行
委員会を立ち上げ、阿波おど
りを開催することにしまし
た。自分自身、阿波おどりを
踊ったこともなかったのです
が、とにかくやってみようと
手を挙げたところ、いろいろ

な方が助けてくださり、今の
形につながりました。

市長 徳島の夏の風物詩であ
る阿波おどりの文化を吉野川
市で絶やすことなく、次世代
へと引き継ぐために行動され
てきたことに感謝していま
す。大きなイベントですので
運営していくのは大変だと思
います。中心メンバーは何人
ぐらいですか。

和泉 毎年6人ほどが中心と
なって活動しています。それ
ぞれ仕事がありますので、毎
回全員が集まれるわけではあ
りませんが、経営者など、地
域で活動しているメンバーが
多いですね。

開催を続けて
感じたこと

市長 今年で4回目というこ
とですが、これまで開催して
きて感じたことはありますか。

「市長としゃべらんで」第25回目の今回は、一夜限りのかもじま阿波おどり実行委員会委員長の和泉敦史さんと原井市長とのトークセッションの模様をお伝えします。



一夜限りのかもじま阿波おどり実行委員会

和泉 敦史さん × 原井 敬 市長